参加のご案内

Digital Content EXPO 2011

事業概要

コンピュータ技術の発展と足並みを合わせて成長を遂げてきたデジタルコンテンツは、ゲームやアニメなどの産業を発展させるとともに、芸術表現の場として新たな文化を生み出してきました。
コンピュータグラフィックスやバーチャルリアリティなどの関連技術は、コンテンツ産業の発展を牽引するだけでなく、医療やバイオなど多彩な分野へも応用の幅を広げています。
デジタルコンテンツ EXPO は、こうしたデジタルコンテンツ分野で活躍する研究者やクリエイター、企業関係者等が参加し、最新の情報を交換しながら、デジタルコンテンツ産業の 5 年、10 年先の将来像を描き出す国際的イベントです。

名　称：　デジタルコンテンツ EXPO 2011
Digital Content EXPO 2011

会　期：　2011年10月20日 (木) ～ 22日 (土)　（予定）

会　場：　日本科学未来館　（予定）
東京都江東区青海 2-41
http://www.miraikan.jst.go.jp/

東京国際交流館　（予定）
東京都江東区青海 2-2-1
http://www.tiec.jasso.go.jp/

主　催：　財団法人デジタルコンテンツ協会

www.dcexpo.jp

Concept

デジタルイノベーションの架け橋　Bridge for digital innovation

販売促進を目的とした展示会や見本市では、会場を華やかに彩る企業の展示ブースとそこで発表される新製品が花形ですが、デジタルコンテンツ EXPO では、製品化以前の研究開発段階にあるシーズ技術やプロトタイプシステムが主役です。
大学や研究機関で生み出される新技術の中には、製品化に至らずに姿を消してしまうものも少なくありません。こうした現象はたびたび“死の谷”と表現されています。この“死の谷”を克服するためには、谷の両側の住民が頻繁に往来し交流することのできる架け橋が必要です。
デジタルコンテンツ EXPO では、世界の先端技術が一堂に会し、研究者と企業とクリエイターが、それぞれの立場からこれらの技術の可能性を考え、社会にイノベーションの姿を提示することで、“死の谷”を克服する架け橋の役割を果たします。

参加をお薦めする理由

財団法人デジタルコンテンツ協会が主催する信頼性の高いイベントです。

経済産業省は我が国のデジタルコンテンツ産業の市場を 2020 年までに約 20 兆円まで拡大することを目標に定めています。財団法人デジタルコンテンツ協会は、87 の企業・団体を会員にもつこの業界最大級の団体で、経済産業省のこうした政策のもと、デジタルコンテンツ白書の発行や、四半世紀の歴史をもつデジタルコンテンツグランプリの開催、経済産業省の技術戦略マップ（コンテンツ分野）のとりまとめなどを行っています。

世界の第一線で活躍する研究者、技術者、クリエイターが数多く参加し、新たなネットワークを育む機会に満ちたイベントです。

デジタルコンテンツイベントの実行委員をはじめ、シンポジウムやワークショップの講演者や展示物の開発者の中には、世界の第一線で活躍する研究者や技術者、クリエイターなどが数多く参加しており、このイベントに参加することで、こうした人々とのネットワークを育む機会に恵まれます。

参加に係る負担が小さく、大企業でなくともベンチャー企業や研究部門だけでも参加できます。

大規模な展示会や見本市は出展料や出展ブースの造作にかる費用が膨大。しかし、デジタルコンテンツ EXPO は参加に係る負担が小さくて済みます。これは、コンセプトでも説明しているように、製品化の前の研究開発段階のシーズ技術やプロトタイプシステムを出展してもらうためには、広報宣伝費や販促費などが使えない研究部門や大学、ベンチャー企業などでも無理なく参加できる出展条件とすることが不可欠と考えているためです。

昨年の来場者は約 26,000 人。DCEXPO TV（USTREAM）の視聴者は約 29,000 人と、情報感度の高い層に優れた訴求効果を発揮します。

昨年のデジタルコンテンツ EXPO では 4 日間で約 26000 人が会場に訪れました。また、USTREAM を活用してシンポジウムや展示の様子をリアルタイム配信した DCEXPOTV では、約 29,000 人が視聴するなど、優れた情報発信効果を発揮しました。来場者や視聴者の多くは、デジタルコンテンツ分野で活躍する研究者やクリエイター、ジャーナリストなど情報感度の高い人々で、デジタルコンテンツ EXPO での情報発信は訴求効果に優れています。

国内外のマスメディアが多数訪れ、活発な報道が期待できます。

デジタルコンテンツ EXPO2010 では、延べ 177 件の取材と 660 件の報道が実現しました。海外での報道も多く、優れた広報効果が期待できます。

参加プログラム

参加プログラムは、以下の条件にあてはまるもので、デジタルコンテンツ EXPO の趣旨に合致するものを公募によって選定します。

シンポジウム

デジタルコンテンツに関連する技術またはクリエイティブ、ビジネスモデルのいずれかの内容を含むもので、国際的或いは先進的情報が得られるもの。
60 分～90 分程度の所要時間で、150～450 名程度を集客できるもの。

セミナー

デジタルコンテンツに関連する技術またはクリエイティブ、ビジネスモデルのいずれかの内容を含むもので、専門家または学生を対象に、専門的技術や知識の習得を促すもの。
60 分～90 分程度の所要時間で、30～100 名程度を集客できるもの。

ワークショップ

デジタルコンテンツに関連する技術またはクリエイティブ、ビジネスモデルのいずれかの内容を含むもので、主に児童・学生を対象に、体験を通じて学習への好奇心を養うもの。
30 分～90 分程度の所要時間で、20～50 名程度を集客できるもの。

展示

デジタルコンテンツに関連する技術またはクリエイティブ、ビジネスモデルのいずれかの内容を含むもので、展示会場において実験装置や映像等を実際に展示できるもの。
原則として３日間通期で展示でき、要員が常駐して説明を行うことができるもの。

ステージイベント

デジタルコンテンツに関連する技術またはクリエイティブ、ビジネスモデルのいずれかの内容を含むもので、展示会場に設置したイベントステージで実演を行うもの。
10 分～60 分程度の所要時間で、50～100 名程度の観客にふさわしいもの。

映像上映

コンピュータグラフィックスやアニメーション、実写など、デジタルコンテンツ EXPO にふさわしい内容で、展示会場に設けたスクリーンで上映可能な作品。
10 分～60 分程度の所要時間で、50～100 名程度の観客にふさわしいもの。

会場施設

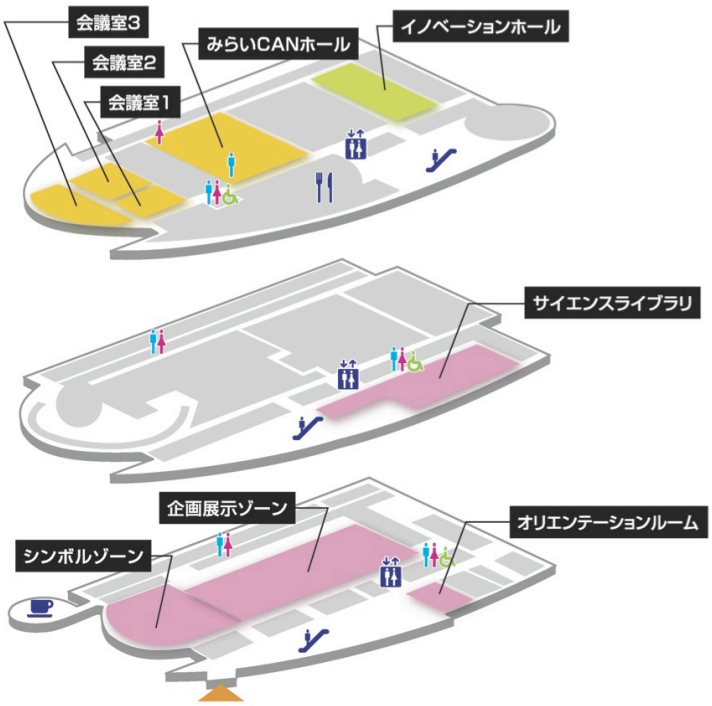
日本科学未来館

施設名	規模	階数	シンポジウム	セミナー	ワークショップ	展示	ステージイベント	映像上映
みらい CAN ホール	300 席	7F	●					
会議室 1	54 席	7F		●	●			
会議室 2	84 席	7F		●	●			
イノベーションホール	196 ㎡	7F						●
サイエンスライブラリ	300 ㎡	3F				●		
企画展示ゾーン	1520 ㎡	1F				●		
センターステージ	100 席	1F					●	●
オリエンテーションルーム 2	130 ㎡	1F		●	●	●		

東京国際交流館

施設名	規模	階数	シンポジウム	セミナー	ワークショップ	展示	ステージイベント	映像上映
国際交流会議場	479 席	3F	●					
メディアホール	102 席	3F		●	●			
会議室 1	60 席	4F		●	●			
会議室 2	36 席	4F		●	●			
会議室 3	36 席	4F		●	●			
会議室 4	18 席	4F		●	●			
会議室 5	12 席	4F		●	●			

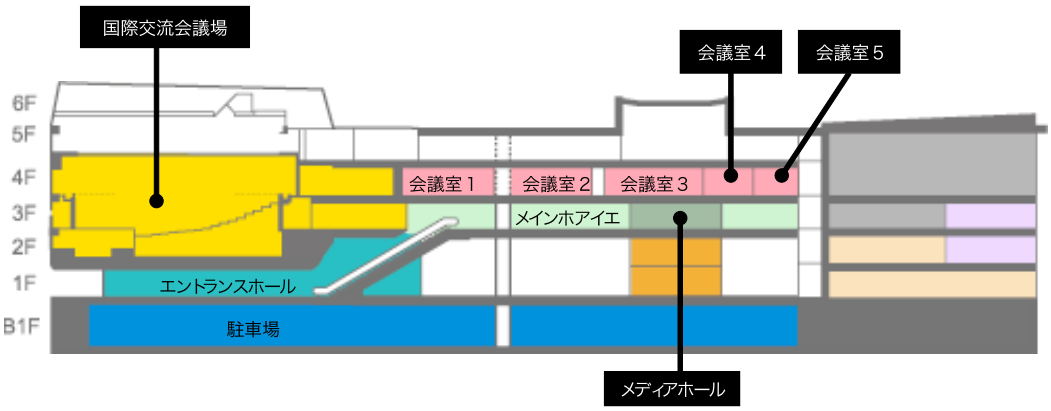
フロアーMAP（日本科学未来館）



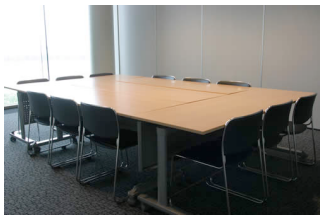
会場写真（日本科学未来館）

みらい CAN ホール	会議室 1	会議室 2
サイエンスライブラリ	イノベーションホール	交流サロン
展示ゾーン	オリエンテーションルーム２	

フロアーMAP（国際交流館）



会場写真（国際交流館）

国際交流会議場	メディアホール	会議室１
会議室２	会議室３	会議室４
会議室５		
		

www.dcexpo.jp

参加費

参加プログラムは、開催に係る経費として、以下の費用をご負担いただきます。参加費には、施設利用費、光熱費、受講者受付、事前予約（希望者）、広報(Web、印刷物)等を含みます。

参加費

プログラム区分	規模	時間枠	参加費		
			第１期早割 (～2011/6 末)	第２期早割 (～2011/8 末)	通常料金
シンポジウム	150～450 名	2 時間	262,500	315,000	367,500
セミナー	30～100 名	2 時間	88,200	105,000	126,000
ワークショップ	20～50 名	2 時間	88,200	105,000	126,000
展示	単位区画９㎡	3 日間	115,500	136,500	157,500
ステージイベント	50～100 名	1 時間	44,100	52,500	63,000
映像上映	50～100 名	1 時間	44,100	52,500	63,000

（消費税込み）

（シンポジウム・セミナー・ワークショップの時間枠（予定））
①１１：００～１３：００
②１３：００～１５：００
③１５：００～１７：００
※準備・撤去含む

（展示の時間枠（予定））
１０：００～１７：００

（ステージイベント、映像上映の時間枠（予定））
①１０：００～１１：００
②１１：００～１２：００
③１２：００～１３：００
④１３：００～１４：００
⑤１４：００～１５：００
⑥１５：００～１６：００
⑦１６：００～１７：００
※準備・撤去含む

www.dcexpo.jp

応募条件

参加プログラムの応募条件は以下のとおりです。

1．応募が可能な機関等
法人格を持つ企業・団体となります。国内・国外は問いません。

2．応募方法
参加をご希望の場合は、申請書（別紙【様式１、２】）に必要事項をご記入の上、メールにてご提出ください。
複数のプログラムをお申し込みになる場合は、プログラムごとに１枚ずつ提出してください。

3．提出先
デジタルコンテンツ EXPO２０１１ 事務局 （財団法人デジタルコンテンツ協会 内）
apply@dcexpo.jp
担当：今里

4．選考の方法
申請のあった企画は、デジタルコンテンツ EPXO 運営委員会において審査の上、決定いたします。
参加プログラムの実施日時は、他のプログラムとの調整によって決定します。ご希望に添えない場合もありますのであらかじめご了承ください。

5．応募テーマ
以下のいずれかに該当するテーマを公募の対象とします。
・デジタルコンテンツ分野における「技術」のうち、先進性、独創性に優れるもの
・デジタルコンテンツ分野における「作品」のうち、芸術性、独創性に優れるもの
・デジタルコンテンツ分野における「ビジネスモデル」のうち、市場性、独創性に優れるもの
・デジタルコンテンツ分野の「人材育成」に資するもの
・デジタルコンテンツ分野の「国際交流」に資するもの
・デジタルコンテンツ分野の「ビジネスマッチング」に資するもの
・その他、主催者が認めたもの

6．選考基準
[1] 実施条件
・会場の展示施設において展示を行うことができるもの
・会場の上映施設において上映を行うことができるもの
・会場の会議施設においてシンポジウムやセミナー、ワークショップ等を行うことができるもの
・その他、主催者が認めたもの

[2] 費用負担
・参加プログラムの実施・運営に係る人件費、運搬費、旅費、コンテンツ制作費等の経費を参加者が負担できるもの
・その他、主催者が認めたもの

[3] 排除事項
・公序良俗に反するもの
・青少年の健全な育成に反するもの
・反社会的勢力が関与するもの
・国際社会での関係性において不適切なもの
・その他、社会通念に照らし主催者が不適切と判断したもの

お問い合わせ

デジタルコンテンツＥＸＰＯ2010 事務局
財団法人デジタルコンテンツ協会
〒102-0082　東京都千代田区一番町２３番地３　日本生命一番町ビル LB
Tel：03-3512-3901　Fax：03-3512-3908
apply@dcexpo.jp
担当：今里、大森

協賛のご案内

デジタルコンテンツ EXPO2011 では、プログラム参加の他に協賛参加も受け付けています。
詳しくは担当者にお問い合わせください。

項目	内容
資金協賛	デジタルコンテンツ EXPO の実施に対する資金の提供
物品役務協賛	映像機材や広告枠等の物品や役務の提供